

ディ ィ ブ ロ マ ・ ボ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		文芸表現の基礎教養や、人間・社会への好奇心・関心をもとに、自身の学修や企画に必要な知識・情報を主体的に収集・理解し、また更新し続けることができる。	人間の多様性を認識・理解し、謙虚な姿勢で異なる価値観・思想に耳を傾けることで、つねに社会を想定した文芸表現、かつ多様な他者との相互理解を形成しながら、ひとつの目的に向かった協働作業に積極的に取り組むことができる。	より複雑化する現代社会において、多様性のなかで共存する人間や社会の課題を批評的・共感的に考察できる視座をもち、文芸表現の力によって社会に新しい価値・思想を生み出すことができる。	自身の興味・関心についての、文芸市場や歴史的文脈をふまえた体系的な理解のもとづき、新たな文芸表現の問いや可能性を、先見性・洞察力をもって分析的に導き出すことができる。	論理的思考力と豊かな感性をもとに、現代社会に新たな価値や意義を提示できる独自性・必然性のある文芸作品を発想し、その企画に適した設定・構成・章立て・ストーリーを具体的に構想することができる。	発想・構想した作品の企画にふさわしい表現形式や技巧を適切に採用し、かつ文芸表現の基礎教養にもとづくリーダビリティのある文章、魅力的な固有の筆致によって、企画したテーマを十分に読者に届かせることができる。

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	-----------------

4	16	発展	卒業研究・制作（8単位） 卒制草稿のブラッシュアップから文庫本作成、卒業展企画・運営へ					
	15							
	14		文芸総合演習5（2単位） 4年ゼミ2「卒業展に向けて、卒業制作の草稿完成を目指す」					
	13		文芸総合演習4（2単位） 4年ゼミ1「卒業展に向けて、文芸表現の集大成となる卒業制作に取り組む」					
3	12	応用	進級研究・制作3（4単位） 作品展のふりかえりと、文芸的キャリア研究の総括的講義・実践					
			文芸論6（2単位） 音楽と文芸が相互に影響しあってきた歴史的な関係性について考察する	農演習2（2単位） 暮らしを学ぶー加工と保存				
			文芸論7（2単位） 落語や講談など言葉を「話す」「聞く」ことで成り立つ口承文芸を学ぶ					
			データサイエンス入門2（1単位） データを理解、分析する際に必要な基礎スキルを学ぶ					
	11		出版編集論2（2単位） リトルプレスやニューメディアから、ロングテール時代について考える	農演習1（2単位） 暮らしを学ぶー有機農法		メディア演習発展（2単位） 編集的思考や物語創作力を応用したマルチメディア制作実践		文芸総合演習3（2単位） 3年ゼミ3「作品展に向けて、自身が企画した研究・制作物を完成させる」
			出版編集論3（2単位） 書籍・図書館・書店、そして社会について考える					
			データサイエンス入門1（1単位） データを基に世界を正しく見る					
			心理学基礎（1単位） 生活やメンタルヘルスに役立つところの科学					
			哲学概論（1単位） 哲学は何を問いとしてきたか					
			文化人類学特論（1単位） 文化人類学の範囲と方法を知り、人間文化の多様性を学ぶ					
	10		就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、準備＆実践する	文芸論5（2単位） オーラル・コミュニケーション能力の向上を図るため実践と理解	文芸論4（2単位） 文芸作品をはじめとする芸術作品の解釈・批評のための哲学・思想入門		ビジュアルデザイン論2（2単位） 書籍の構造を知り、装丁・製本・造本についての方法、歴史、文化を学ぶ	文芸総合演習2（2単位） 3年ゼミ2「作品展に向けて、これまでの研究・制作活動をより進展させる」
			歴史学（1単位） 歴史学を通じてみた現在					
			ウェルネス演習（1単位） 生涯にわたり健康的な生活を送るためのエクササイズ					
	9		文芸表現発展（2単位） 文芸表現の学びを発展させて、実際に社会に働きかける	生涯スポーツ演習（2単位） スポーツをとoshした健康づくりとコミュニケーション力の向上	文芸創作ワークショップ5（2単位） 物語創作における「マンガと文芸」の相互作用について立体的に探求する		文芸総合演習1（2単位） 3年ゼミ1「作品展に向けて、自身が企画した研究・制作活動に取り組む」	
			出版編集論1（2単位） 校正・校閲と文芸、そして社会について考える					
			ビジュアルデザイン論1（2単位） 書籍やフォントの多様性を知り、既存メディアの可能性を考える					
			就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、準備＆実践する					

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識・情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多様な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容		文芸表現の基礎教養や、人間・社会への好奇心・関心をもとに、自身の学修や企画に必要な知識・情報を主体的に収集・理解し、また更新し続けることができる。	人間の多様性を認識・理解し、謙虚な姿勢で異なる価値観・思想に耳を傾けることで、つねに社会を想定した文芸表現、かつ多様な他者との相互理解を形成しながら、ひとつの目的に向かった協働作業に積極的に取り組むことができる。	より複雑化する現代社会において、多様性のなかで共存する人間や社会の課題を批評的・共感的に考察できる視座をもち、文芸表現の力によって社会に新しい価値・思想を生み出すことができる。	自身の興味・関心についての、文芸市場や歴史的文脈をふまえた体系的な理解のもとづき、新たな文芸表現の問いや可能性を、先見性・洞察力をもって分析的に導き出すことができる。	論理的思考力と豊かな感性をもとに、現代社会に新たな価値や意義を提示できる独自性・必然性のある文芸作品を発想し、その企画に適した設定・構成・章立て・ストーリーを具体的に構想することができる。	発想・構想した作品の企画にふさわしい表現形式や技巧を適切に採用し、かつ文芸表現の基礎教養にもとづくリーダビリティのある文章、魅力的な固有の筆致によって、企画したテーマを十分に読者に届かせることができる。

学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨
----	---	----	----------	----------	------------	-----------------

2	基礎	進級研究・制作2（4単位） 文芸表現・創作についての応用的講義と、2年次ポートフォリオの作成					
		百讀4（2単位） 多様な文芸表現を文化的・社会的背景とともに読みとき、思索を深める		芸術と倫理（1単位） 芸術にとって倫理とはなにか			
		文芸論2（2単位） ゲームにおける物語性について、文芸表現の学びとの連続性のなかで考える					
		文芸論3（2単位） 編集的思考による放送番組の企画制作論と、放送作家・脚本家について学ぶ					
		キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターンシップの準備と実践を行う					
		文芸表現応用2（2単位） 文芸表現の学びをさらに応用して、社会に出る意識を醸成する		文芸と社会3（2単位） 社会的課題・クライアントの要望を文芸表現の力で解決する（実践・総括）		芸術と社会（1単位） 芸術による社会変革の可能性を考える	
		メディア演習応用2（2単位） Adobe「In Design」を使った編集・ブックデザイン実践				文芸創作ワークショップ4（2単位） 社会に関えるレベルの文芸作品を執筆するエキスパート演習	
		社会学（1単位） 社会学の基本概念を学び、社会の諸問題に対して理解を深める					
		現代社会概論（1単位） 日本社会や世界の事象をリアルタイムで考える					
		文芸表現応用1（2単位） 文芸表現の多様な学びを応用して、社会との結びつきについて考える		文芸と社会2（2単位） 社会的課題・クライアントの要望を文芸表現の力で解決する（プロセス・試作）		文芸論1（2単位） 文芸作品をそれが創作された文化的、言語的コンテクストにおいて考える	
		芸術と文化（1単位） 芸術表現活動における文化的意義を考察する				芸術と心理2（1単位） 進化の視点から、芸術するこころの基盤について考える	
		日本国憲法2（1単位） 表現の自由と法の下の平等を考える					
6	文芸表現の多様な学びを応用して、社会との結びつきについて考える		文芸と社会2（2単位） 社会的課題・クライアントの要望を文芸表現の力で解決する（プロセス・試作）		文芸論1（2単位） 文芸作品をそれが創作された文化的、言語的コンテクストにおいて考える		
	芸術と文化（1単位） 芸術表現活動における文化的意義を考察する				芸術と心理2（1単位） 進化の視点から、芸術するこころの基盤について考える		
	日本国憲法2（1単位） 表現の自由と法の下						
	百讀3（2単位） 多様な文芸表現を読みとき、その文化的・歴史的背景も理解する		文芸と社会1（2単位） 社会的課題・クライアントの要望を文芸表現の力で解決する（課題発見・分析）		芸術と心理1（1単位） 芸術を生み出し芸術を感じる人のこころを学ぶ		
	文芸メソッド2（2単位） 文芸表現において企画を「いかに」表現にするかといった形式論を学ぶ						
	メディア演習応用1（2単位） Adobe「Illustrator・Photoshop」を使った平面デザイン実践						
	表象文化特論（1単位） 視覚文化を理論的に考察するために基本的概念を学ぶ						
	日本国憲法1（1単位） 日本国憲法というフィルターを通して日本社会を見つめ直す						
	進級研究・制作1（2単位） 文芸表現の基礎教養についての統合的講義と、1年次ポートフォリオの作成						
	文芸メソッド1（2単位） 文芸表現において「何を」表現するかといった企画論を学ぶ				リーディングスキル2（1単位） 日本語の読解と表現の技術について考えなおす力を身につける		
	文芸概論（2単位） 文芸およびその周辺領域を概観し、文芸の可能性を考える						
	アカデミックライティング（1単位） 研究・制作のためのレポート・文章の書き方を学ぶ						
人権教育2（1単位） 人権問題を学び、その問題の解決に向けて考える							
3	文芸表現基礎（2単位） 文芸表現の基礎として、すべてに徹底する編集的思考と一般的な文章術を学ぶ		キャリア研究基礎（1単位） 理想の学生生活・将来設計（進路）をつくる		文芸創作ワークショップ2（2単位） 文芸創作の基礎固めとして、初心者から脱した習作レベルの作品を執筆する		
	リーディングスキル1（1単位） 日本語の読解と表現の技術について学ぶ						
	アカデミックリサーチ（1単位） 研究・制作のための調査と情報収集の方法を学ぶ						
	人権教育1（1単位） 日常生活における「人権」の再認識						
2	芸術教養論（1単位） 大学での学び方を学ぶ		ことばのワークショップ2（1単位） 受け手に届く「ことば」と表現を実践を通して学んで行く		文芸創作ワークショップ1（2単位） 多様な文芸創作の入門編として、まずはごく短い文芸作品の執筆に取り組む		
	百讀2（2単位） 多様な文芸作品を読みとく力を高め、批評性を養う						
	情報リテラシー（1単位） 情報を活用するうえでの基礎知識を修得する						
1	文芸表現入門（2単位） 文芸表現の導入として、日本語文章の基礎知識と、多様な文芸ジャンルを学ぶ		芸術立国論（1単位） 京都芸術大学を学ぶ				
	百讀1（2単位） 多様な文芸作品に触れ、文芸表現の学びの礎となる読みとく力を高める						
	メディア演習基礎（2単位） 文芸で学ぶために必要となるPCアプリの基礎操作修得						
	ことばのワークショップ1（1単位） 大学生に必要な「ことば」と「コミュニケーション」						